

●関係機関の紹介

子どもの本や読書に関するご質問は、県立図書館をはじめお近くの図書館へお気軽にご相談ください。

図書館名	所在地	TEL
山梨県立図書館	〒400-0031 甲府市丸の内二丁目33-1	055-226-2586
市川三郷町立図書館	〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門1785	055-272-8888
上野原市立図書館	〒409-0112 上野原市上野原3531	0554-63-5241
大月市立図書館	〒401-0011 大月市駒橋一丁目5-1	0554-22-4815
忍野村立おしの図書館	〒401-0511 南都留郡忍野村忍草1423-1	0555-84-7300
甲斐市立竜王図書館	〒400-0115 甲斐市篠原2610-12	055-278-0811
甲州市立勝沼図書館	〒409-1313 甲州市勝沼町下岩崎1034-1	0553-44-3746
甲府市立図書館	〒400-0861 甲府市城東一丁目12-33	055-235-1427
昭和町立図書館	〒409-3864 中巨摩郡昭和町押越575	055-275-7860
中央市立玉穂生涯学習館	〒409-3821 中央市下河東1-1	055-230-7300
都留市立図書館	〒402-0052 都留市中央三丁目8-1	0554-43-1324
南部町立南部図書館	〒409-2213 南巨摩郡南部町大和360	0556-62-9292
韮崎市立図書館	〒407-0023 韮崎市中央町11-52 (2011年4月～休館)	0551-22-1121
笛吹市石和図書館	〒406-0035 笛吹市石和町広瀬626-1	055-262-5959
富士河口湖町生涯学習館	〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津1754	0555-73-1212
富士吉田市立図書館	〒403-0013 富士吉田市緑ヶ丘二丁目5-23	0555-22-0706
北杜市金田一春彦記念図書館	〒409-1502 北杜市大泉町谷戸3000	0551-38-1211
南アルプス市立楡形図書館	〒400-0306 南アルプス市小笠原1060-1	055-280-3300
身延町立図書館	〒409-2523 南巨摩郡身延町波木井407	0556-62-2141
山中湖情報創造館	〒401-0502 南都留郡山中湖村平野506-296	0555-20-2727
山梨市立図書館	〒405-0031 山梨市万力1830	0553-22-9600

県内公共図書館（中心館）一覧（五十音順）

山梨県立図書館子ども読書推進担当 お問い合わせ先

kodomo@lib.pref.yamanashi.jp

または <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/reference/question/input.html> まで

来！見！知！！



あなたをサポート
山梨県立図書館

平成23年2月1日発行

編集・発行 山梨県立図書館

〒400-0031 甲府市丸の内二丁目33-1
TEL 055-226-2586 FAX 055-226-2528
E-mail kodomo@lib.pref.yamanashi.jp
ホームページ <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

印刷 株式会社ヨネヤ



*本冊子掲載の表紙画像を個人的な目的に使用する以外で複写・転載することはお控えください。
*当館ホームページ上からも冊子をご覧いただけます。



絵本で楽しい親子の時間

山梨県立図書館

●赤ちゃんと絵本

読み聞かせは
親子のコミュニケーション。

幼い子どもにとって、大好きな人に抱っこされて時間を過ごすのは何よりも嬉しいことです。本を通じた楽しい経験がその子を支え、テレビやインターネットなど、他のメディアとうまく付き合う基礎になります。

子どもの世界を
自由に広げてくれる、それが読書。

本はいつでも好きな時に手に取って読むことができ、読むたびに違った面白さを与えてくれるものです。本の内容を理解することを通して、想像力・言語力がつくというメリットもあります。



赤ちゃんと一緒に
絵本を楽しみましょう！

読み聞かせにはメリットがあるといっても、「やらなければ」と思うと負担になります。めまぐるしい生活の中、子どもと落ち着いた時間を過ごす手立てとして絵本を楽しんでみてください。

子どもの豊かな心をはぐくむのは、
大人たちです。

地域のつながりが薄い現代、ママやパパにかかる負担は大きなものです。読み聞かせやブックスタートなど絵本を通じたコミュニケーションを機会に、周囲の人と一緒に子どもと関わっていきたいですね。

参考文献：『子どもの図書館』石井桃子，岩波書店，1979年
『読む力は生きる力』脇明子，岩波書店，2005年
『こども・こころ・ことば』松岡享子，こぐま社，1985年
『子どもとことば』岡本夏木，岩波書店，1982年

■ 1～2歳からの絵本

言葉を話しはじめる時期。絵本に登場する物と言葉を結びつけ大喜びします。食べる、遊ぶ、寝る、起きるなど、毎日の生活体験をリズムカルな言葉やシンプルなくり返しで描いた絵本がおすすめです。



『おつきさまこんばんは』

夜空に丸いおつきさまが出てきました。ところが、黒雲がおつきさまを隠してしまいます。黒雲が去ると子どもはホッとした表情になります。おつきさまのドラマを読みとり、子どもがぐくっと集中する絵本です。

林明子／さく 福音館書店 1986年



『きんぎょがにげた』

水槽から赤いきんぎょが逃げ出しました！ きんぎょは、同じ色で、似たような形の物の中に上手に隠れています。きんぎょはどこ？ 子どもと一緒に探してみましょ。親子が楽しく遊べる絵本です。

五味太郎／作 福音館書店 1977年



『しろくまちゃんのほっとけーき』

しろくまちゃんと一緒にホットケーキを作ろう！ 材料をよーく混ぜて、フライパンで焼きます。ぴちぴち ぷつぷつ。焼けたかな？ まあまだ。きいろくておいしそうなホットケーキのできあがり！

森比左志、わだよしおみ／文 わかやまけん／絵 こだま社 1972年



『たまごのあかちゃん』

卵の中に隠れている赤ちゃんは誰かな？ 「出ておいでよ！」と呼びかけてみましょう。生まれ出てきたのは、ひよこ、かめ、へび、恐竜など色々な動物の赤ちゃん。へびと恐竜の赤ちゃんが子どもたちの人気者です。

かんざわとしこ／ぶん やぎゅうげんいちろう／え 福音館書店 1987年



『でてこいでてこい』

動物たちがかくれんぼ。子ども達は「でてこいでこい！」と言いながら何がでてくるかわくわくして読みます。動物のヒントを出すと盛り上がります。最後のぞうさんは一番人気で、ぞうさんの歌を歌う子も。

はやしあきこ／さく 福音館書店 1995年



『でんしゃ』

電車が大好きな子におすすめ。いろいろな種類の電車がお客さんや荷物をのせ、駅から駅へびゅんびゅんと走る様子が描かれています。乗り物絵本シリーズの一冊で、他に『ひこうき』『ふね』『とらつく』があります。

バイロン・バートン／さく・え こじまもる／やく 金の星社 1992年



『もこもこもこ』

意味不明だと思っても一度読み聞かせてみて！ 子どもはこの不思議な言葉の音やリズム、絵に興味津々で、きゃっきゃと喜びます。くり返し読むと、子どもから「もこもこ」「によき」というつぶやきが出始めることも。

たにかわしゅんたろう／さく もとながさだまさ／え 文研出版 1977年